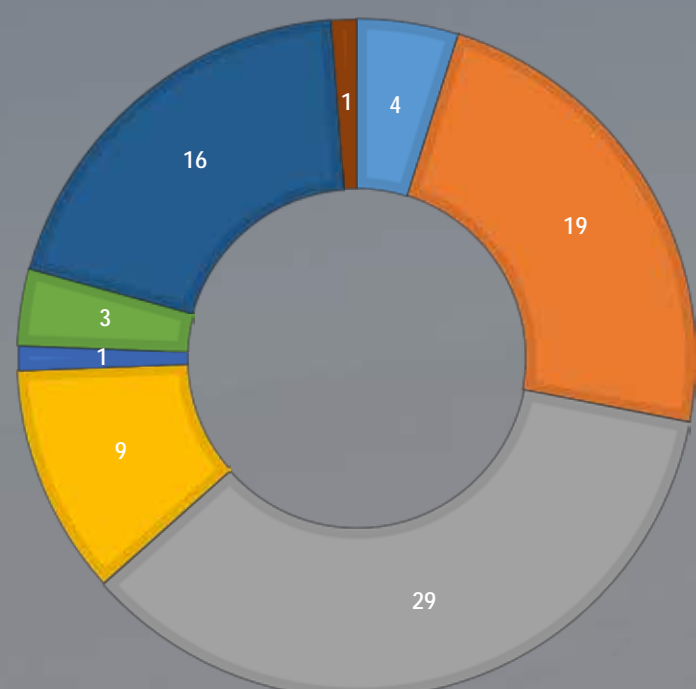


2019年度参加青年に聞いてみた！

そもそもどうしてこの事業に応募しようと思ったの？派遣のぶっちゃけ話は？応募時に悩んだことはある？など、応募時のギモンをぶつけてみました！あなたの不安やお悩みを少しでもワクワクへと変えられたら幸いです

Q. どんな人が参加するの？ 社会人はいる？

■ 大学1年生 ■ 大学2年生 ■ 大学3年生 ■ 大学4年生
■ 蛸5年生以上 ■ 大学院生 ■ 社会人 ■ その他



社会人参加青年からの声！

社会人として新しいことに挑戦して自分の世界を広げたいと思った時に出会ったのが、この事業でした。海外の人との交流はもちろん、団員みんなで意見を出しながら課題に取り組むことで、確実に考え方の幅が広がりました。学生とか社会人とか関係なく一緒に盛り上がるのができるのもこの事業の魅力の一つだと思います！

(公務員・育成事業参加青年)

Q. 事業に参加するにあたって 仕事や大学との兼ね合いはどうしたの？

学生

- ・夏休みと被っていた期間があったため、あまり影響はなかった
- ・先生や学生課と交渉して公欠をとった
- ・休学した
- ・欠席した（修了証を提出し、欠席理由を報告した。教授の理解があったため参加しやすかった）

社会人

- ・有給休暇を取って参加した（職場と交渉して休みを取った）
- ・出張・研修扱いになった

Q. 事業参加中、事業以外で 大変だったことは？

- ・特になかった
- ・派遣でいない期間がある分、その前後に課題や発表があって大変だった
- ・欠席した分の授業に追いつくこと
(→友達にノートを見せてもらった、残りの授業で挽回した、課題に取り組んだ)
- ・周囲の理解を得ること
- ・大学側とのやりとり（公欠の手続きなど）
- ・仕事との両立、スケジュール管理
- ・不在の間の業務の引き継ぎ

Q. 2次試験対策はどのようなことをした？

- ・志望動機を明確にし、それを口に出して言う練習
- ・訪問国に関するニュースを見る、地理や歴史の知識を増やした
- ・IYEOでOB・OGの方に体験談を聞いた
- ・一般教養問題の練習をした
- ・イメージトレーニング
- ・英会話対策をした

面接で聞かれるであろう志望動機について、どうしてこの事業に参加したいのか、参加後どのような事後活動がしたいのか、ということをもう一度見直したという団員が多いです！

IYEO
内閣府青年国際交流事業既参加青年による
事後活動団体組織、各都道府県にあります

Q. 派遣で得たものは？

- ・かけがえのない仲間、お互い高め合える関係
- ・人の優しさ、繋がり、海外の友達、コミュニティ
- ・訪問国に対する知識、自分の目で見た「今」の情報
- ・人脈、多様な視点
- ・異文化理解力
- ・国籍を超えてのコミュニケーション能力
- ・事後活動ネットワークへ参加できる権利
- ・言葉の壁を超えてコミュニケーションをとる力、適応力

Q. どうして事業に応募しようと思ったの？

- ・自分の視野を広げたい、自己成長のため
- ・国際交流や国際協力に興味があったから
- ・旅行や留学ではない目的で訪問してみたかった
- ・学外の機関を通して訪問することに興味があった
- ・この事業でしか行けないような場所や人との出会いがあると感じたから
- ・内閣府の青年国際交流事業に参加した人からの勧め
- ・テーマに惹かれた（育成事業参加青年）
- ・中国に関わるきっかけとして良い機会だと思ったから（中国団参加青年）
- ・両国の友好に貢献できるきっかけになると考えたから（韓国団参加青年）

Q. 辛かったことはある？

- ・特になし！
 - ・日程がタイトだった
 - ・たくさんの料理を出してもらったとき、食べたいけどお腹いっぱいな状態だったこと
 - ・バス移動が多いため運動不足になる
 - ・自由時間が少ないことがあった
 - ・派遣までの準備をする際、団員が全国にいたためみんなで集まって話ができなかった
 - ⇒地域ごとに集まったり、スカイプでの話し合いを行った
 - ・Wi-Fi環境が弱いところがあったこと
 - ・英語が苦手だったため、もっと練習しておけばよかったと感じることもあった
- （育成事業参加青年）

もっと多くの人に内閣府青年国際交流事業を知ってもらいたい！広報活動をする！

もっと日本の良さや文化を広めたい！

将来の仕事、働き方へ生かしたい！

訪問国の正しい理解を日本に広めたい、自分の経験を伝える活動をする！

IYEOの活動や地域交流会へ参加し、派遣報告を行う、交流の促進に努めたい！

SNSを通じた情報発信をする！
より多くの人に見てもらえるような伝え方をする

これからの語学勉強、留学の励みにする！

Q この経験を今後どのように生かしたい？



終わりに

改めまして、本日はお忙しい中、ご来場いただき誠にありがとうございます。
本日の報告会はいかがでしたでしょうか。

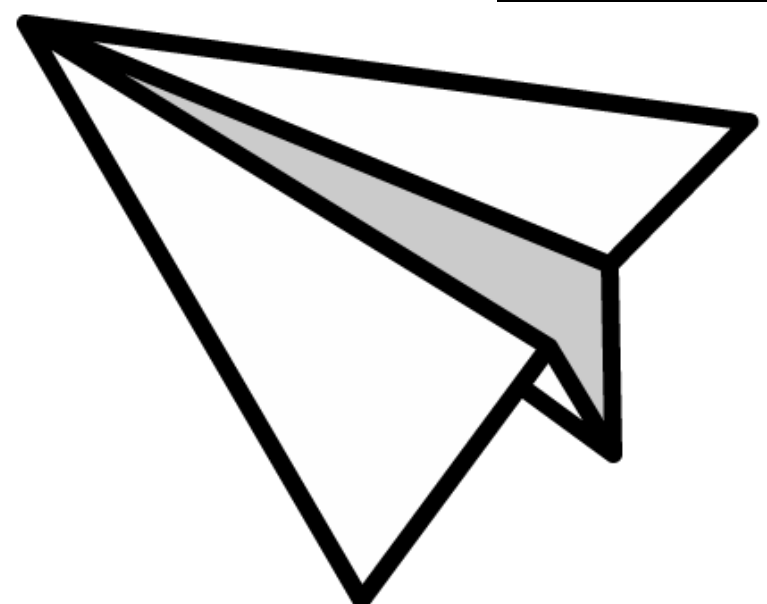
私たち参加青年は、今まで知らなかった新しい世界に飛び出し、各国で様々な経験をしました。それぞれが異なる思いで参加しているからこそ、多種多様な学び、気づきが存在します。短い時間でしたが、この報告会を通して皆様にこの事業の素晴らしさを伝えられていたら、また皆様の抱いていた疑問を少しでも解消できていたら幸いです。

留学やボランティアなど、世界と繋がる選択肢は数多く存在しますが、内閣府青年国際交流事業を一つの案に入れていただけたら実行委員一同大変嬉しいです。

「無理」だと最初から決めつけず、是非挑戦してみてください。

次に世界と繋がるのはあなたかもしれません。

2019年度内閣府青年国際交流事業（航空機による青年海外派遣）報告会
実行委員会一同





新しい出会いが
あなたを待っています